

参加初年度の地域グループ活動費の無料化について

2019年8月3日
東京地域グループ運営委員会

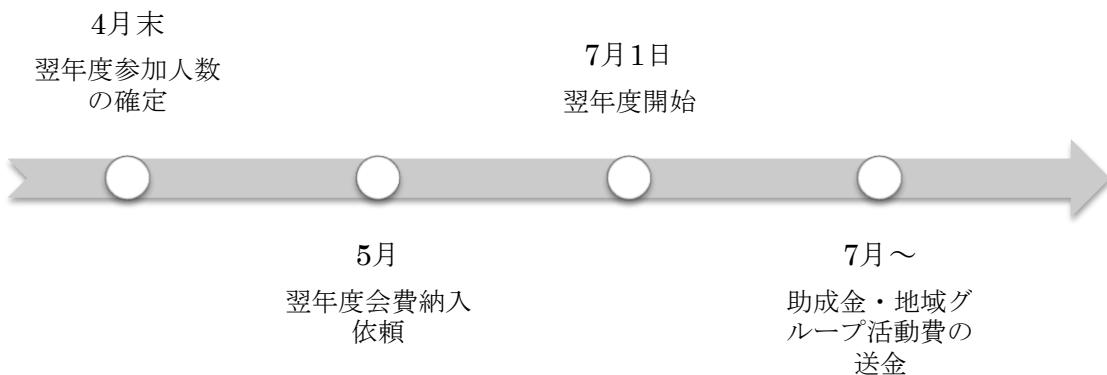
2018年12月および2019年3月に開催された全国委員会にて、年度途中の地域グループへの参加にかかる手続きスケジュール、対応方法について検討を行った。検討の結果、地域グループ参加初年度の地域グループ活動費について各グループへ持ち帰り検討することとなったため、以下のとおり提案する。

1. 検討・提案の前提

- 大団研の年度は7月～翌年6月の1年間
- 会費は前納としており、現会員には5月に翌年度会費の納入依頼を行う
- 各地域グループには所属会員数に応じて助成金が支給される
- これまで、年度途中の入会希望者には入会する年度を確認し、会費徴収・会報送付を行っている

2. 全国委員会での検討内容

- 4月末時点で地域グループ参加者数を確定し、翌年度助成金の額を確定
- 5月にグループ参加者数の決定を受け、会費納入依頼を行う
- 5月～翌年4月末の参加希望者（新規入会希望者含む）は、当年度の地域グループ費は全国では徴収しないが、各地域グループで徴収することもできる。
 - すべての地域グループが初年度の地域グループ活動費を徴収しない場合、助成金算出のための人数カウントを年度初め（7月1日）とすることができる。
 - 各地域グループにて持ち帰り、検討する。



3. 提案内容

東京地域グループへの参加初年度については、地域グループ活動費（1,500 円）を徴収しない。これには、新規入会者、すでに会員である者が東京地域グループに参加する場合の両方を含む。初年度の会費が安くなるため勧誘しやすくなるメリットがある。予算の面からみても、これまでの運営費の支出削減努力により若干の余裕があるため、初年度を無料にしても大きな影響は出ないと見込まれる。

また、今年度から参加している会員へは納入済の地域グループ活動費を返金する

(参考) 地域グループ参加に関する事務手続き

全国事務局にて対応

- 地域グループ活動費の徴収 ※徴収していない地域もある
- 地域グループ活動費の各グループへの送金（取りまとめの上 7月、12月の年 2回送金）
- 助成金の決定、各地域グループへの送金
- 会報発送/ML(dt-k@daitoken.com)への登録

地域グループにて対応

- 地域グループ活動費、助成金の受け取り
- ニュースレターの発送/ML (d-tokyo@daitoken.com) への登録